

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準と評価方法

教科名 芸術		科目名 美術Ⅰ		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
4～5月頃	「絵画・彫刻「A表現」 (1), [共通事項] 鉛筆デッサン	目に入る情報の幅を広げ、造形の要素の働きを理解し、遠近法で正しく表している。	絵画の基礎となる構成や表現方法について考え、課題を発見・解決し、主題を生成している。	主体的に向上心を持って、絵画・彫刻の表現の創作活動に取り組もうとしている。
6～9月頃	「デザイン「A表現」 (2), [共通事項] ポップアップカード	平面から立体へ置き換えて、表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。	デザインの機能効果、目的や条件、楽しさ美しさを考え、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に向上心を持って、デザインの表現の創作活動に取り組もうとしている。
10～12月頃	「絵画・彫刻「A表現」 (1), [共通事項] 油彩画	意図に応じ材料や用具の特性を活かし、全体のイメージをトーンで表すことを理解している。	表現形式の特性を活かし、形体や色彩、構成等を考え、創造的な表現で主題を捉えている。	主体的に向上心を持って、絵画・彫刻の表現の創作活動に取り組もうとしている。
1～3月頃	「絵画・彫刻「A表現」 (1), [共通事項] 水墨画	伝統的な表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	技法や構成等について考え、表現形式の特性を活かし、創造的な表現で主題を追求している。	主体的に向上心を持って、絵画・彫刻の表現の創作活動に取り組もうとしている。
通年	「作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」, [共通事項]」	全体のイメージや作風、様式等や造形の要素の働き、大まかな美術史の流れを理解している。	造形的良さや美しさ、作者の心情や表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。	主体的に向上心を持って、作品や美術文化の鑑賞の創作活動に取り組もうとしている。
主な評価方法		作品提出、 アイデア・下絵、練習課題等	作品提出、アイデア・下絵等、 発表・レポート	出席態度、提出状況、行動観察、 感想カード
その他	<p>1 アイデア、下絵、レポート、感想カード等の制作過程の資料・作品は、評価対象となる。</p> <p>2 作品は本制作が主体になるが、作品ごとの授業時数や制作工程に応じた下絵の数等により、評価内容の割合に変動がある。</p>			